

財産目録を記入する上での注意点

- 以下の間違いが多数ありますので、ご注意ください -

平成30年12月現在

◇収支計算書

歳	入		出		摘要
	予算額	決算額	予算残額	摘要	
1 教会費	3791000	3762887	28113		
1 取次費	21000	19400	1600		
2 儀式費	700000	696133	3867		
3 育成費	365000	360980	4020		
4 布教費	40000	35146	4854		
5 給与	1800000	1800000	0		
6 旅費	105000	103220	1780		
7 備品費	210000	203500	6500		
8 通信費	93000	92416	584		
9 消耗品費	17000	15080	1920		

◇財産目録

※不動産（土地・建物）の金額は、取得時の価格を記入する。
〔時価に置き換えたり、減価償却する必要はない。〕

※祭具・器具・機械・図書の増減は、「備品」の数量、金額に反映させる。

単価 10,000円以上の祭具
単価 3,000円以上の一般図書。教内図書
単価 10,000円以上の備品

区分	種別	数量	金額	適用
資産	祭具	27点	500,000円	普通財産
	器具	38点	679,600円	
	機械	46冊	92,665円	
備品	計		1,272,265円	

〈収支計算書〉 〈財産目録〉
差引残額 = 預貯金 + 現金

5 子備費	80000	—	80000	
1 子備費	0	—	0	
合計	9771000	9658047	112953	
歳入合計	9,782,351円、歳出合計	9,658,047円、差引残額	124,304円	平成〇〇年度に繰入

※「預貯金」・「現金」には、収支計算書の「差引残額」の内訳を記入する。
・余剰金などを、一般会計とは別に保管しているものは、
「特別積立金」欄に記入する。

区分	種別	数量	金額	適用
資産	有価証券	5口	385,000円	普通財産
	預貯金	1口	34,882円	
現金	その他の		89,442円	
現金	その他		0円	

※別途会計的に管理しているものは、「特別積立金」欄に記入する。
〔ご運営、記念祭等に向けた積立金
特別な目的はなくても、一般会計とは別に保管しているお金など。〕

区分	種別	数量	金額	適用
資産	特別積立預金	2口	2,000,000円	普通財産
	有価証券	5口	385,000円	

※有価証券の金額は、取得時の価格を記入する。
〔時価で計算し直す必要はない。〕

区分	種別	数量	金額	適用
資産	特別積立預金	0口	0円	普通財産
	有価証券	5口	385,000円	

特別積立金の扱いについて

※特別積立金を用いて事業を行う場合は、いったん一般会計収入の部に受け入れて、支出の部から支出する。

歳	入		摘要
	予算額	決算額	
4 前年度繰越金	220,000	221,720	△1,720
1 前年度繰越金	220,000	221,720	△1,720
5 特別積立金受入金	1,500,000	1,500,000	0
1 特別積立金受入金	1,500,000	1,500,000	0

【前年度の財産目録】

区分	種別	数量	金額	適用
資産	特別積立預金	2口	2,000,000円	普通財産
	有価証券	0口	0円	

いったん一般会計に受け入れ、適当な科目から支出する。

【本年度の財産目録】

区分	種別	数量	金額	適用
資産	特別積立預金	1口	500,000円	普通財産
	有価証券	5口	385,000円	

※特別積立を行う場合は、一般会計歳出の部から支出し、財産目録に計上する。

※特別積立の利息は、一般会計歳入の部の「資産収入」で受け入れる。
利息分を特別積立金に増額する場合は、支出の部から支出する。